



# 奈良・人と自然の会

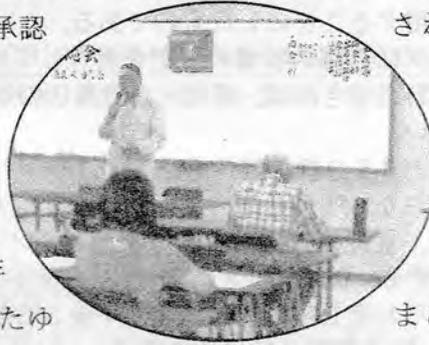
＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

## 前進！ 21年度 スタートです！

奈良人と自然の会 会長 阿部 和生

さる 5 月 24 日(日) 奈良市中部公民館にて第 8 回 奈良・人と自然の会 総会が開かれ 20 年度の事業報告、会計報告、その他一切が承認 されましたこと をご報告申し上げます。

任期途中ではありますが、明石幹事、林 任され 菊川年明、寺田 孝、塩本勝也の 幹事就任も承認決議されましたことを申 す。会則にあります幹事定員 18 名で 21 年 トを切ることとなりました。会員の皆様のたゆ 動のもとに、お世話役 幹事 18 名も一生懸命 力をあわせ 取り組もうとしております。 これからもよろしくお願いいたします。



幹事が退 三氏の新 し添えま 度のスター マぬ情熱と活

年度替わりで、退会された方もありますが、また新しく多くの方の参入もあり会員 121 名となっています。まことに頼もしいことでございます。この人的パワーを、大きなエネ ルギーとして、新年度もたくましく 進んでまいりたいと思います。

そのためには、会員の皆様方が、すでに内在しておられる ご自分の力・経験・得意と される分野などを、この「会」の中で 存分に発揮していただくことに尽きると思います。

資質の高い会員各位は、いろいろと多方面で活躍されておられます。広く大きなアンテ ナで受信されたことを「奈良・人と自然の会」で活用していただき あるいはまた発信し てくださることを期待しています。

これまでの会を振り返りますと、営々として 自然観環境保全や青少年教育、環境への 情報発信などに取り組んできました。その長年の蓄積が今日の「会」の大きな信用と力の 原動力になっているとおもいます。

その蓄積の中から新年度には、芽を出しかけた新しい活動の分野が、出てまいりました。

たとえば、通年湛水のビオトープ作り、水田の復活に伴う佐保台小学校との共同授業研 究会スタート、小学校の校庭自然観察のお手伝い、景観形成の梅林作り、復旧水田跡地の グランドカバー計画、里山林の定期的な整備作業 などなど。

そうした新しい事業計画と、これまでのさまざまな事業と重ね合わせて 今年度も少し ずつ着実に実現して行きたいと思っております。そのためには会員の皆様方が、これをやろう！この ようにやってゆこう！と ご自身が主体性を持って関わりあってくださいることが とても 大切であろうと思っております。

あらゆることに会員の皆さん方が ご意見 提案を積極的に働きかけてくださるよう そ して、活動参加による実践 を心よりお願い申し上げます。

“私たちは大和の自然を愛します” そして 明るく！、元気に！楽しく！ です。

# ならやまプロジェクト・レポート 21年5月

古川 祐司

4月22日(水) 晴 ならやま山の日 参加者26名 「学びの森」整備

・「学びの森」では、冬の間切倒した木の枝や柴などを適当な長さに切りそろえて整理し、笹の刈払いをする。広場の中央には、丸太を組み合わせたベンチをセットして、「森の教室」の雰囲気となる。新芽が萌えはじめたコナラの梢からは、やわらかい春の日差しが降り注いで、木漏れ日の林間教室が実現する。  
午後3時解散

4月23～24日 晴 県の業者によるb地区笹藪跡地の整備

・笹藪を刈取った田圃跡地約3700平米に県の業者が入って耕起を開始。刈り取った笹は一箇所に集める。作業は2日で終了。今後は、我々の手で笹の根の除去、土壌改良など地道な作業を経て緑地へと再生を目指す。当面ヒマワリ、梅、蕎麦の栽培などを検討中。

5月8日(金) 曇り 竹笹をチップ化 ナス・夏野菜の植付け 参加者23名

・1年かけて刈払った笹は高さ3mの山、大型チップマシンを導入してチップ化を図る。作業は、6人1組の4交代体制で進める。(今日で40%の進捗)。従来から、伐採した笹竹の活用は懸案となっていたが、専門雑誌「現代農業4月号」に竹の活用が詳しく解説されていたことをヒントに、チップ化して肥料として活用することにしたものである。

・植木の剪定チップに近隣の牧場の厩肥を混合してコンポストを作ることは、昨年から試みてきたが、笹竹のチップが肥料にできれば、里山・有機農法の畑・近隣牧場の間で、有効なエコ・サイクルが見えてくるかもしれない。

・ナスクラブは、ナス50株の植付けを完了。昨年の反省をふまえて、土作り、棚、水遣り体制など一段の工夫がされており、成果を期待して欲しいと、メンバーはやる気十分。

・農園グループは、夏野菜の植付け。・・・サツマイモ(ベニアズマ)、トマト、キュウリ、カボチャ、ソーメンカボチャ、サンドマメ、ゴーヤ、ハヤトウリ等など。もちろん肥料は有機、無農薬栽培！  
会員の皆様、どうぞお楽しみに。 午後3時解散

5月11日(月) 野鳥観察の日 4名参加

5月14日(木) ならやま山の日 竹笹のチップ化作業(継続)、梅林予定地整備

・竹笹のチップ化作業の継続、今日で約80%を消化した。先週処理したチップには、早くも灰色の放線菌が繁殖し、発熱しながら盛んに分解しているのが見受けられる。

・b地区の道路沿いの笹藪跡は、梅の若木を植えるべく、秋までに笹の根や石、ゴミを取り除いて植え土作りに励む。数年後の梅林の風景を頭に描きながらの作業となる。

・農園グループは、落花生の種まき。田植え準備 午後3時30分解散

5月15日(金) 菜種のハサ掛け準備

・菜種が熟して刈取りの時期となった。刈取った菜種の束を干す「ハサ掛け」を作るため、有志4人が臨時出動しました。菜の花プロジェクトの皆さん、いつでもどうぞ。

\*\* お知らせ \*\*

・佐保台小学校5年生が授業の一環として、「ならやま」で稲作りの体験実習をいたします。

農園グループの世話人の鈴木末一さんが中心となってお世話します。教室での授業、田植え・稲刈り脱穀・餅つきと一連のスケジュールが組まれます。会員のみなさんのご協力よろしくお願い致します。

・ならやまの活動分野毎に、担当の世話役が決まりました。担当分野の計画・推進・指導・取りまとめをお願いしています。皆様のご協力をお願いします。

[世話役]

A 里山グループ

・板橋宏昌さん

B 農園グループ

・鈴木末一さん

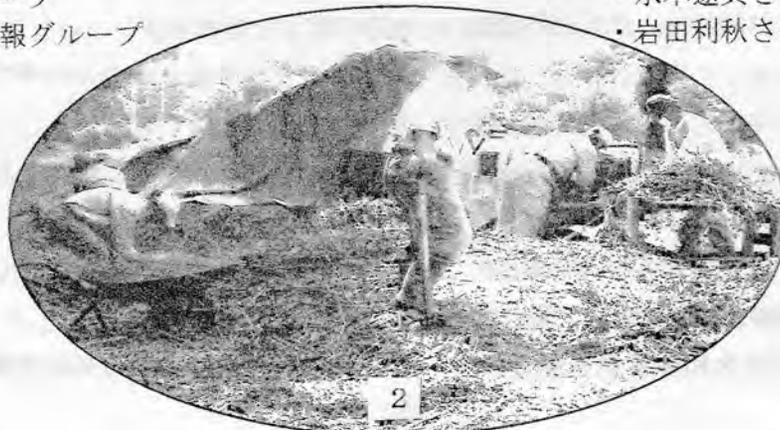
C 景観・環境改善グループ

・水本遼真さん、西谷範子さん

D 教育・イベント・広報グループ

・岩田利秋さん、小嶺敏勝さん

[チップ化作業]



\*ならやま里山林花だより\*

林 令子

5月8日(金) 5月も花いっぱいの里山でした。

野ではレンゲ、ヤブジラミ、キツネノボタン、ムラサキサギゴケ、トウバナ、シロツメグサ、アメリカフウロウ、ハルジオン、オニノゲシ、ムラサキカタバミ、カスマグサ、マツバウンラン、ヤエムグラ、オニタピラコ、タツナミソウ(白)が 山林にはモチツツジ、ニセアカシア、カマツカ、ズミ、ツクバネウツギ、ノイバラが咲いていました。畑ではパンジー、セキチク、ニチニチソウ、ヤグルマソウ、キンセンカ、ショカツサイ、シラン、アヤメ、ジャーマンアイリス、スズラン、そして厳寒の冬を野外で耐え抜いたクンシランが花を咲かせていました。

行って 帰って また行く

鈴木末一

このタイトルを見て何ごとかなと思われた方も少なくないと思います。実は、「また行く」が大変重要な意味をもっています。1972年12月、随分昔の話になって恐縮ではありますが、「教育学の中央講習」で、対話が深まり発展していくためには、「また行く」をどのような言葉で発信していくかが重要なポイントになることを、多くの実践事例から学んだことがありました。

先日、杉の子文庫の小学生たちと、自然木を活かしたクラフトに取り組む機会に恵まれました。私にとって小学生を相手にするのは初めての経験であり、興味関心を持って取り組んでくれるだろうか、少なからず不安を抱きつつ始めました。導入段階で何種類かのサンプルを見せながら説明(行って)をしていくと、A君が「それはたぬきじゃなくてねずみだよ」(帰って)と話しかけてきました。そこで、私は「そうか、なるほどねずみにも見えるな!」(また行く)と言葉を返しました。するとA君は満足げに笑みを浮かべていました。この時、「いや、おじさんはたぬきのつもりで作ったのだよ」と決めつけてしまっていたら、A君とはもちろんのこと他の多くの子供達との対話が弾んでいかなかっただろうし、さらには豊かな創造力を発揮してクラフトに励んでくれなかったのではと……。約1時間半後、それぞれに思いの込めた個性の数だけの作品を見て、(また行く)の言葉が如何に大切であるかを再認識しました。

爽やかな風が頬を撫でる緑陰の下、野外クラフト教室で貴重な体験を積み重ねるとともに、子供たちから私に「創作意欲」と「やる気」を与えてもらった有意義な一日となりました。

自然俳句欄

うな  
祈りこめ勸ひてゐたる耕運機 秀夫

春耕と同じ、耕運機は季語。今年も季節が巡り来る。  
秋の豊かな収穫への願い。機械のうながり心強い。



## 「奈良・人と自然の会」入会に際して

高松秀行

大和国中 春霞む 青垣山に囲まれて・・・

私の母校 田原本中学校の校歌の一節です。奈良盆地の中央部にあって 古代遺跡の散在する 溫和で自然豊かな土地を讃えています。

この故郷を離れて40年 帰るたびに奈良の良さを確認し安らぎを得ています。

定年後 これからは自然と共生していきたいと、一念発起 一周遅れで小学生の如くシニア自然大学の門をたたきました。

今春15期風組を修了し、これからの実践の場として 奈良・人と自然の会への入会を認めていただきました。

- ・自宅枚方市から 少々距離があるが、生まれ育った奈良で活動の拠点が持てる
- ・ならやま里山林Pの活動拠点のすばらしさと、計画内容の豊かなことから 楽しい時間をすごせそうと感じたのが動機です。

マイペースながら「明るく・楽しく・遅しく」をモットーに少し不安もありますが、夢を膨らませ 期待を大きくし 元気にスタートできればと願っています。

特にこれと言った特技や技能を持っていませんが、本会 会員の皆さんの仲間入りさせていただきます よろしくお願ひします。

## 里山での随想

中西建夫

09年2月に鈴木末一さんに里山紹介で一度下見しないかと声が掛かり現地に着くと同時に(アッ)と一人歓声の声。 といいますのも私にとりましてはこの地は半世紀振りに帰ってきた思い出の地です。(歴史は繰り返すとはこのことか)

今は亡き鈴木さんの親父さんと私の親父二人ペアを組んで農業の片手間にこの里山一帯の管理の仕事し、又下草刈・間伐材の伐採の仕事に従事しておりました。私事昭和18年生まれ小学校低学年ごろから(昭和20年後半～昭和30年前半)今の駐車場あたりから南に向かって山に入り、当時親父がよく話しをするには南面の斜面に生える材木は太陽光をよく吸収するから上質な材木を産出すると話しておりました。(戦後の混乱期又物不足)ある日父親に自分所は農家なのに毎日麦飯・芋の入りのおかゆ・一度でいいから白い米のご飯食べたいと親に言うと米(白米)は国に供出しているという声。(何年か後に時の総理大臣は貧乏人は麦を食えと発言アリマシタネ)。そんな中 秋の季節に麦飯弁当入れてもらい特に楽しみであった焼き松茸が食べられること、笠は早く火がとおるが幹は火がとおりにくいのでその場で棄てていたこと、今になつて贅沢な食べ方していたものである。

又 親父がよく言っていたのですが、山に入ったら山椒(サンショ)の匂いがしたならば近辺に蛇マムシが居る可能性が大であるからその場から避難すること、と注意をうけておりました。(サンショ小粒でもピリリと辛いよく塩昆布の中に入っている)

40年近く奉職して6年前定年退職して近くの畑で二人が食べるだけ耕作しております。一つの事終わって次の作業に付く気は有るのですがなかなかエンジンが掛かりませんが、皆様の迷惑にならぬよう頑張ります宜しくお願ひいたします。



## 「奈良、人と自然の会」に入会して

山中 笙子

シニア大 15 期の講座生として昨年 10 月に当会の教育実習に参加しました。当日は、なら山里山林の整備事業の説明を受け、午前は竹の間伐と樹木調査、午後は佐保台小学校の子供たちとの竹トンボ作りイベントに参加。本当に盛り沢山の体験をし美味しい豚汁まで御馳走になり有意義で楽しい実習でした。以前から里山保全活動に興味がありベースキャンプが家から近く、そして何よりも樹木観察、間伐、野菜作り、各種イベント、例会と様々な活動があるということで入会させて頂きました。

この四月より、これといった特技のない私はとにかく様子見ということで、菜の花祭り、なら山の日、一般活動日と参加。野草の天ぷら、間伐材の枝打ち、タケノコ掘り、竹のチップ作り、野菜の植え付け、其々の道具の扱い等ほとんどが初体験。還暦過ぎてお役に立つどころか教えて頂くことの多いこと！体力を要する作業もあって不安もありますが、出来ることをすれば良いと開き直っております。先輩の皆様、新入会の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

### 新入会のご挨拶：自然大好き人間の仲間入りです

坂本 順一

今年のシニア自然大学 15 期風組卒の新人です。京阪沿線の石清水八幡宮のある京都府八幡市に住んでいますが、今後ともよろしくお願ひします。

今年度の進路検討では自然大学の長井会長が新たに理事長に就任され NPO として新発足の「大阪府高齢者大学校」の存在を知り、思案の末にここの美術科に入校することに決心。ひよんなことから子供の頃から好きだった絵画を基礎から学ぶ機会ができました。しかし自然大学で学んだ延長線は何とか維持したいもの。欲張って地元の京都、元勤務地に近い淀川、そして歴史情緒もたっぷりの奈良、この 3 つのクラブに入会しました。とくに「奈良・人と自然の会」はご招待いただいた「菜の花祭り」や充実した会報を通じて、会員の皆さんの家族的な雰囲気やバラエティに富んだ独自性のある活動に感銘し、人見知りをする家内も一緒に家族会員として入会しました。

白砂青松の玄界灘に面した自然たっぷりの九州・唐津で育ったせい自稱自然大好き人間の一人。我が家の庭ではバラなど四季折々の草花を楽しみ、おまけに裏山を開墾して野菜や果物まで栽培し、これらの手入れや雑草管理にかなりの時間忙殺されています。これに高齢者大学校や趣味サークルのコーラス、ゴルフ、ハイキング、飲み会なども加わると毎日がバタバタで晴耕雨読なんて悠長なものではありません。このように恵まれた環境で定年後を楽しめるのは有難いことですが、難点は入会した自然クラブにいかにして参加できる機会を確保するかです。

定年後すぐに「悠々自適」なんて決め込むには早すぎる、さりとて好きな晩酌ざんまいで「悠々痴的」になってはならぬ、どうせなら「悠々知的」に生きる手立ては無いかとアクティブシニアの道を模索したのがシニア自然大学に入ったきっかけ。ここで知り得た仲間と自然探究心はこれからも大切にしたいものです。参加できる回数は他の方々よりも少なくなるとは思いますが、よろしくご指導をお願いします。





## 「奈良・人と自然の会」のみなさんお世話になりました

豊田正生

先日会長あてに、退会届を提出いたしました。今年11月に北海道札幌市に転居することで、この4月から生活を進めております。北海道へ初めて行ったのは、昭和34年の初夏でした。当時は新幹線も無く青函連絡船に乗り、函館からまた汽車に乗り札幌につきました。このとき函館から長万部まで、駒ヶ岳がどんどん姿を変えて本土と全く違った景色の雄大さに目を見張った、物凄い印象がいまだに残っております。これでいっぺんに北海道が好きになりました。

その後各地に旅行をしております。沖縄が大好きな友人がおり沖縄も良いよと言ってくれます。沖縄復帰直後に2年間単身赴任した経験がありますが、家族を連れて住みたいとは思いませんでした。人には暑く開放的な地域が好きな人と寒い何か締った地域が好きな人があるようです。私は後者に当たるようです。平成10年あたりから北海道には年に数回は行って、その都度行った先でこの地に住みたいな、いい土地は無いかいとか冗談めいて同行の人に言うておりました。とくに函館では近くに温泉もあり地球温暖化のためか最近では雪も少なくなっているので、住むのにいいかなと思ったことでした。昨年家内と円山公園にある円山(250メートル)の自然林の中を登りました。頂上にはトリカブトが咲き・鳥の声もあり・エゾリスも顔を出し・カメラ向きの手ごろな散策路でした。その帰り道に、駅から1分、温泉が目前でジャスコも3分・市立病院も5分という建設中のマンションを見つけ、ここぞと思った次第です。この年齢になりましたが、気力のあるうちに前にさらに進めて人生を楽しみます。

「奈良・人と自然の会」は、入会当時より良い企画・良い資料の提供で感心していました。幹部・幹事の方々を先頭に一致協力し目的に向かって、こつこつ一歩一歩進めていられることが、機関紙や行事を通じて、また里山の開発活動からひしひし感じられます。そのうえ最近では後継者になろうという若い人も入会されています。本当に今後の会の発展を祈ります。私は何も協力できずにただお世話になるばかりでした。ありがとうございました。

☆ 新しい土地でのご活躍をお祈りしております ☆

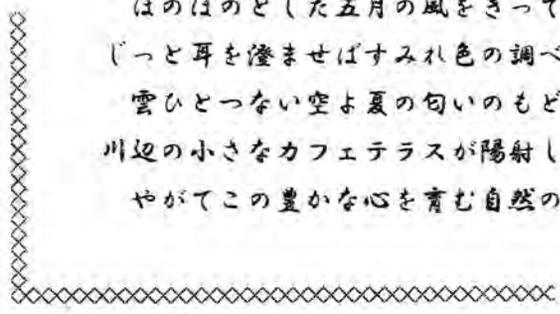
## 〈癒しの散歩道〉



### 五月は巡る季節の交差点

谷川萬太郎

駆け巡る野山に咲き乱れる季節の花がいぶかしげにこちらを見てそっと微笑んだ  
ほのぼのとした五月の風をきって幻の夏の陽炎が霞みの中から顔を出しては隠れ  
じっと耳を澄ませばすみれ色の調べ映す野里を流れる清流が静かに滑ってゆく  
雲ひとつない空よ夏の匂いのもどかしさに緑の翳きが深い森に吸い込まれ消えて  
川辺の小さなカフェテラスが陽射しに黄色く染まるひとときは微かな香りと人の声  
やがてこの豊かな心を育む自然の叫びが眠りから覚めてこの広い大地に土音が響く



## 扇の要 阿部 和生さん

川井 秀夫



私の「思いでの記」も最終章となりました。在任中に助力を頂いた方々、色々な活動の場で交歓した仲間たち、終生の記憶として、私の心の本欄にしっかりと収めて置きたいと思えます。

昨年5月。後事を託し、総会の承認を経て、阿部 和生さんに代表に就任して頂きました。彼とは発会当時の盟友であり、正に温厚篤実を絵に書いた様なお人柄で、未だ怒りの表情を見た事はありません。ただ一度「いこま棚田」の一泊研修会の酒席で、X氏と論争となり、相手を論破する骨のある強い表情を見た事がありました。

非常に勉強家で、特に森林学に造詣が深く、インストラクターの狭き門を修得され、当会の「忍辱山国有林」「なら山里山林PG」の活躍は、ご存じの通りと思えます。

また助成金の事務手続きには力になって頂き、他団体・行政との渉外にも骨を折って頂きました。代表としての今後の手腕に、大いに刮目しております。

当会の事務局の中核として弓場 厚次さん。山歩き、スキーは玄人はだし、斗酒辞さずの上戸。一方、当会の事務的な気配りの繊細さには驚きます。総会・幹事会・諸行事の出自はこの人の存在無くして成立しないと言っても過言ではなく、一字、一句の誤りがあったとしても自分を責める完璧主義者に、人間、誤りはあるものよと肩を叩く事もしばしばありました。ただ一言、好漢少しお酒を控えめにと・・・。

勝田 均 氏。当会の会報誌の編集長。奥様の緑さんと二人三脚で頑張っている。ご両人とも絵画がご堪能で、ギャラリーで鑑賞し感服しております。

勝田さんの飄々とした、おとぼけの雰囲気が好きで、リベラルな編集長として無理を言ってきた。最長老の樋口 善雄と似た味があり、人は年と共に味が出るものだと常々元気を貰っております。

古いお付き合いの大石 門三 さん。コーラス、ハーモニカの名手。また農事体験の豊富な方でご指導を仰いで来ました。最近一寸お元気の無いのが気がかかりますが・・・。

境 寛 さん。奈良のボーイスカウトの分団長として活躍されており、当会のホームページをご担当して頂いている。有能な知識をご伝授して頂く機会を得たいと思っております。

在任中、当会は「幹事会」の調和が崩れた時はお終いよ と、言ってきました。有能な方々の立場を尊重しながらも、お互いの信頼関係を守り、扇の要である阿部 和生 氏を中心に相互理解を深めて頂きたいと強く念願致します。

この寄稿文の中で、失礼の点はお許し下さい。今後ともよろしく。



## 昆虫のネーミング その2

菊川年明

今回はわが国に産する昆虫の個別的なネーミングの代表例を少しご紹介します。ご存じのものが多くとも思います。

### 強い・大きいからというもの

#### \*オニヤンマ

強い・大きい・手に負えないものなどの名に鬼の名を冠することがある。オニヤンマはトンボ・ヤンマ類の中では最大・最強で、まさに鬼の名を冠するに相応しいヤンマである。

#### \*トノサマバッタ

別格・偉大なものの名に皇帝や殿様などを冠することがある。トノサマバッタは殿様の名を冠するに相応しいバッタである。色彩も風格があり、特にメスは大きく、貫禄がある。ただし、体長だけの単純比較ではバッタ類の中で最も大きいのはショウリョウバッタのメスである。

#### \*クマバチ

クマはわが国では大きい、恐ろしい獣である。そういうところから大きくて、黒い部分が目立ち、毛の生えたハチにクマバチという名を付けたのであろう。クマゼミもほぼ同様であらう。

### 姿・形からのもの

#### \*クワガタムシ

クワガタとは鋏形で、兜の前面にいかめしく立っている前立物のことである。クワガタムシはオスの大きな顎（ハサミ）を鋏形に見立てた名付けである。

#### \*ゾウムシ

ゾウムシの頭部の口吻があたかもゾウの鼻のように長いところからの名付けである。手にとってじっくり眺めると、種類によっては（ならやまではオジロアシナガゾウムシなど）ゾウにそっくりと思わせる。

#### \*アケビコノハ

アケビコノハの幼虫はアケビなどの葉を食草とする。成虫は果実の汁を吸う害虫として知られているが、静止している姿は枯れた木の葉とそっくりである。アケビの葉で育つ木の葉（コノハ）にそっくりのガというところからの名付けであらう。

#### \*イトトンボ

イトトンボはか細い超小型の可憐なトンボである。糸トンボとは妙を得た名付けである。

#### \*ヒョウモンチョウ

ヒョウモンチョウはタテハチョウ科に属する一群のチョウである。羽の紋様がヒョウのようなまだらの模様になっているところからの名付けである。ならやまによく見られるヒョウモンチョウはツマグロヒョウモンである。

#### \*カマキリ

カマキリは言うまでもなく前肢が鎌のような形の武器になっているところからの名付けである。

### 匂いからのもの

#### \*ジャコウアゲハ

ジャコウアゲハのジャコウとは「麝香」のことで、オスのジャコウジカから得られる香料である。オスのジャコウアゲハがこの麝香のような匂いを発するところからの名付けである。

#### \*アメンボ

アメンボは体から飴のような匂いを発するところから飴棒と呼ばれ、アメンボになったと言われている。

### 鳴き声からのもの

#### \*キリギリス類

キリギリスの鳴き声（ギース・チョン）は「キリギリス」と聞こえないでもない。ウマオイムシの鳴き声（スイーッチョン）は馬子が馬を追い立てる「シーッ、シーッ」という掛け声に似ているところからと、また、クツワムシの鳴き声（ガチャガチャ）は馬が轡（くつわ）を手綱を付けるために口に付ける馬具）を鳴らして駆ける音に似ているからと言われている。

#### \*セミ

ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシなどは異論なく鳴き声からの名付けである。アブラゼミについては鳴き声が油で揚げ物をするときの音に似ているからというのが有力である。

夏日となった11日4人で廻りました。ヒナが孵ったのかムクドリが餌をくわえて飛んでいきます。アオサギも番で鳴き声を交わしながら飛んでいます。まだ縄張りが決まらないのかいつもは可愛い囀りのメジロが近距離で盛んに声を競っているかと思えば、遠くでトラツグミのヒーッ!!という静かな鳴き声も聞こえます。鶴伝説で気味悪るがられる鳴き声も、朝の明るい日差しの中では何か清々しい感じに聞こえます。H17/3号の「トラツグミの話(ヌエ伝説)」が残っている方は読み返してみてください。ツバメも盛んに飛んでいます。ツグミなどの冬鳥たちが姿を消しいよいよ子育てのシーズンです。例の「オオタカナのかハイタカナのか」さんは今年も巣を架けてくれるでしょうか気になりますね。



禰(ヌエ)  
トラツグミ?

川瀬支部長から★シジュウカラは毎年ペアが変わるから盛んに囀るが、ヤマガラは夫婦関係が継続しているので囀らないのだというお話を聞きました。

ちいまじょうぼう

★(榎原)5月25日夕方5時前待っていたホトトギス去年より5日遅れでやってきました。もう今年はこのか心配してましたが「キョ キョ キョ キョ」という鳴き声が西の裏山から、これでようやく夏が来た!

★面白い話御所の畑で突然草むらから3羽の子キジがぱたぱたと飛んで出て隣の畑へ。しばらくして母キジが子キジが飛び出た反対の方を見て「ピーグルグル ピーグルグル」と必死な感じで子供を呼んでいる。たまりかねて私が「あっち あっち」母キジに手振りと声で知らせたら子キジの方へ行きました。きっと草むらの中で無事出会えたことでしょう。あの時の母キジの顔が忘れられません。キジにも私が知らせようとしたことがわかったんだと勝手に解釈して楽しい気分になったひとときでした。それと母キジだって私がいて逃げたかっただろうにこっちを見て逃げよう とせず子供の心配をして・・・母って強い!(斎藤)



< ナヨクサフジ >

★(斑鳩より)ナヨクサフジが大和川の堤防を紫に埋め尽くしています。今年は王寺近辺から龍田川まですごい勢いです。ヨーロッパからの帰化植物です(勝田)

# 行事案内

\* 原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止\*

## 『ならやま里山林プロジェクト6・7月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）  
 —「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—  
 （案内図が入用の方は、問合せ先までご連絡下さい）

日時：6月4日（木） 一般活動日・田植え（佐保台小実習を含む）  
 6月8日（月） ならやま野鳥観察の日（小雨実施）  
 6月16日（火） 一般活動日  
 6月18日（木） ならやま山の日（里山整備）  
 6月30日（火） 予備日  
 7月8日（水） 一般活動日  
 7月13日（月） ならやま野鳥観察の日（小雨実施）  
 7月16日（木） ならやま山の日（里山整備）  
 7月25日（土） 公開イベント「里山の昆虫観察と自然工作」  
 7月31日（金） 雨天予備日

集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時

交通：①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行  
 ②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：30発 JR奈良行  
 ①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

携行品：弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）  
\*環境保護のため、コップ・箸・椀は各自でご用意下さい。

活動内容：里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成  
 農事作業、除草、有機栽培のための堆肥作り、土作り

\*自由活動日について

当面の間、火曜日、金曜日を「ならやま自由活動日」とします。活動される方は  
 担当幹事までご連絡下さい。

\*担当幹事 古川

小嶺

岩田利秋

### ならやまの野鳥観察 ～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

★日程：6月8日（月） <毎月第2月曜日>

☆出発時間・場所：7時・ならやま駐車場

★観察場所：里山林散策路内の定点及び定線観察

☆持ち物：双眼鏡・飲み物・歩きやすい服装・マイコップ（弁当・雨具は適宜）

★小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。中止の時は次週に順延。

☆担当者：小田

・菊川

## <6月例会> —研修ツアー—「金沢・能登 里山文化を訪ねる」

皆様のご参加を得て「研修ツアー」を実施します。「三井物産環境基金」の応援・金沢大学のご協力で素晴らしい研修企画が準備できました。「金沢・能登 里山文化を訪ねる」をテーマに開催します。

1. 日時:平成21年6月10日(水)~11日(木)
2. 集合:近鉄、京都線・高の原駅 西側 ひまわり館前 8時10分(時間厳守)  
交通:(大阪難波)(快急)7:20—(鶴橋)7:26—(生駒)7:41—大和西大寺 7:50(京都線③線に乗換)  
(橿原神宮前)(急行)7:21—(大和八木)7:29—大和西大寺(③線)7:53—高の原 7:58 着  
(京都行各停)—大和西大寺(③線)7:57—高の原 8:02 着
3. 日程:(10日)金沢大学「角間の里記念館」にて宇野文夫客員教授の講演  
(11日)金沢大学「里山里海自然学校」、里山100選・町野町金蔵(輪島市)など交流、見学。
4. 宿泊:珠洲温泉・のど荘—珠洲市宝立町鶴飼 1-30-1 TEL0768—84—1621
5. 費用:¥13,000円
6. 連絡申込先:岩田

担当:川井 秀夫

、岩田 利秋

## <7月の予定>

### <7月例会> なら山、里山の夏

なら山里山林プロジェクトとして活動をしているなら山に今年も夏がやって来ます。なら山を散策し美しい夏の植物や昆虫を観察し、会員によるお話を聞いてなら山の歴史にも触れ、楽しく実りある一日を過ごしたいと思います。

- 1.日時:7月2日(木) am10:00~pm3:00
- 2.場所:なら山里山林(午前)と佐保台ふれあい会館(昼食と午後)
- 3.集合:なら山里山林
- 4.内容:午前の部はなら山の散策、佐保台ふれあい会館へ移動して昼食、午後の部は会員によるお話(なら山の四季、歴史に見られるなら山、少し昔のなら山)
- 5.持ち物:弁当、飲み物、観察用具、筆記用具
- 6.雨天:午前の部は中止、午後の部は決行(pm1:00にJR平城山集合)

担当: 守口 京子

水本 遼真



シイタケの菌植えに  
夢中の子供たち  
<ならやま>

## 校庭の自然観察会

### インタープリテーション入門講座のご案内

奈良・人と自然の会では、教育委員会からの要請に応じて校庭の自然観察会の取り組みを実施したいと考えています。そこで、インタープリテーションを楽しく経験し、今後の活動に生かしていくため、『インタープリテーション入門講座』を、下記のとおり開催します。多数のご参加をお待ちしています。

○日時：7月7日(火)10時～15時 (雨天でも開催)

○集合場所・時間：ならやまフィールド(JR平城山駅下車徒歩10分)、10時

○問い合わせ・申し込みは倉田さんまでお願いします。

## 平成21年5月度幹事会議事録

日時：5月21日(水) 場所：奈良市中部公民館 司会 勝田、記録 境

### 報告事項

- ① 会員数 122名
- ② ならやま里山林プロジェクト：定例活動3回、臨時2回、参加人数計156人
- ③ 「アースデイ2009 in なら」：4月19日(日) 郡山浄化センター スタッフ9名参加

### 確認事項

- ① 第8回通常総会関連事項
- ② 6～7月定例行事他

[例会] 5月例会：5/26(火)「ハツ房杉から青蓮寺へ」・6月例会：6/10(水)～11(木)「金沢・能登里山文化を訪ねる」・7月例会：7/2(木)「ならやま・里山の夏」・8月例会なし。

#### [ならやま里山林行事]

<田植え> 6/4(木)。<一般活動日> 6/16(火)・7/16(木)。<山の日> 6/18(木)・7/8(水)。<野鳥観察> 6/8(月)・7/13(月)。<公開イベント・里山体験> 7/25(土)。<予備日> 6/30(火) 7/31(金)。

[なら・森を育てる県民の集い] 7/20(月)

- ③ ならやま里山林プロジェクト「21年度活動体制」
- ④ 新規研修会開催について：

\*インタープリテーション講習会：7/7(火)

\*パソコン講習会：内容については会員の意見を聞く。後日報告。

### 討議事項

- ① はなはなビレッジ夏期研修：8/2(日) \*内容・費用についての詳細は未定。

編集担当：勝田 均

TEL&FAX

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生